

第4回理事会議事録

議事録作成者：専務理事 古城資久

1 日 時：平成31年1月26日（土）14時～19時

2 場 所：J国際学院ビル（大阪市）6階教室

3 出席者：【理事】佐々木健治 古城資久 石本直樹 三浦重則 安楽友宏
伊差川浩之 大森 了 中田和夫 沖浦耕治（敬称略、順不同）
※理事総数：10名、本日の出席理事9名
※伊差川理事が飛行機の都合で18時に退席、以降、出席理事8名
【監事】安原 徹（敬称略）
※監事総数：2名、本日の出席監事1名
※弁護士の辻恵監事は鹿児島へ業務出張のため欠席
【陪席】北野利雄 蜂須 貢 沖浦克治 善本光彦 松谷昌典
（敬称略、順不同）

4 開 会

定刻通り、代表理事佐々木健治が席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

5 議 事

5. 1 第1号議案 2019年度選手等の登録方法変更案の審議

- ・松谷事務局長より、選手登録費等の入金系統の問題点が報告され、「しゅくみねっと株式会社 会員・入金管理一体型サービス」の導入について提案がなされた。招聘した営業担当より、協会の問題解決ができ、規程類に即した運用が可能になる旨の説明があり、比較する同様のサービスも見当たらず、出席理事全員一致で承認となった。
- ・選手証等のカード発行オプションは見送り、摂取医薬品・サプリメント申告についてもクラウド管理する方向でシステム構築することになった。
- ・支払い時の決済手数料は、これまでの振込手数料同様選手負担とするが、今後の運営状況をみて選手等登録料の値下げを行うことを再確認した。
- ・現行登録料は、平成28年6月の定時社員総会で承認されていながら、「選手及び所属団体登録規程」が改訂されていなかった。又、誤ってアンチ・ドーピングに関する記述がなされていた。審議の結果、金額の修正及び追記を削除した改定案は原案のとおり承認された。

5. 2 第2号議案 情報発信媒体における管理方法の審議

- ・医科学委員の奥谷氏から提示されたホームページに関する提案書に基づいて、松谷事務局長が報告した。現状のホームページは体裁がわかりにくいものであり、無料で新しいホームページを制作するという提案であって、更新作業についても安価な年間上限費用で請け負う申し出であった。ホームページを担当するには、奥谷氏の広報委員

就任が必要であり、担当の三浦常務理事が委員会内で本提案を協議、次回理事会に諮ることになった。

- ・三浦常務理事から、休止している協会フェイスブックの取り扱いについて諮問がなされた。管理面で問題があるという意見も出たが、速報性やシステム上で繋がりができる等ホームページにはない機能があり、多くの人が活用している実態もあることから、管理者を広報委員長と定め運用再開することが全員一致で承認された。

5. 3 第3号議案 「文書取り扱い規程」、「文書作成のガイドライン」改定案、「ホームページへの情報掲載に関するルール」制定案の承認

- ・「文書取り扱い規程」において理事会議事録等の保管期間が永久になっているが、保管場所の問題等から法令に従い10年へ改める旨の提案が松谷事務局長よりなされた。社員総会議事録や人事、処分に関する資料等は永年のままとした。提案された原案は出席理事全員一致で承認された。
- ・「文書作成のガイドライン」について、国際招致委員会に関する内容や、公益法人という立場から文書作成作法を理解してもらうための説明を追記した改訂案が示された。エクセルの使用の是非、遵守することは難しいのではないかという意見も出たが、改訂案は出席理事全員一致で承認された。
- ・「ホームページへの情報掲載に関するルール」制定案について、次のとおり意見が出された。
 - ①原案の2.1(1)②はホームページ更新と関係性が見えず削除する。
 - ②2.5③の「広報委員の管理者と」を削除及び“勝手に”、“無視して”という表現方法は規程類に沿わず文言を修正する。
 - ③2.6についてはリンク先の内容までは干渉できず保留とする。
 - ④文書全体的に“指示”を“依頼”とする等、表記方法を再考する。
- ・その他の部分については趣旨が認められ、原案は修正後に承認することで一致した。

5. 4 第4号議案 技術委員長候補者についての審議

- ・二宮正晴氏の推薦状及びプロフィールを佐々木代表理事が読み上げた。審議の結果、賛成8 否認1で二宮氏の技術委員長就任が承認された。
- ・二宮氏は会社で培ったマネジメントを技術委員会で発揮したいと抱負を述べた。又、技術委員の伊差川理事について、国際殿堂入りしており語学が堪能であることから、国際大会招致委員会で活躍することが望ましい旨の常務会案が提示され、当人を含む出席理事全員一致で承認となった。

5. 5 2019アジアクラシックパワー開催受諾の常務会議事録承認

- ・常務会議事録を佐々木代表理事が読み上げた。要旨は当初開催国のカタールが突如辞退、APF会長ソルタニ氏、IPF技術委員長スミス氏から日本開催の要請が入ったというもので、常務会審議の結果、長野県白馬村で開催することが可能と判断した。他競技で外国人を多く受け入れている地域、沖浦克治氏より長野県でも一定のコンセンサスが取れた報告から、スキーシーズン前の11月26日～12月1日にて開催することが出席理事全員一致で承認された。メインホテルは樫の木ホテル、全国のパワーリフティング関係者の協力体制が構築できるようメディアコントロールすることが確認された。

- ・受託に関連して、ダブルエントリーについて諮問がなされた。国内で行われるアジア大会であり、多くの国内選手が出場できるようダブルエントリーを不可とする内容が出席理事全員一致で承認となった。

5. 6 国際大会派遣時の健康診断について

- ・三浦常務理事より、サブジュニアで実施しているメディカルチェックについて、スウェーデン派遣中に長期入院した浅間氏の事例に触れ、選手団として派遣する全てに義務付ける提案がなされた。
- ・審議の結果、健康状態に疑義がある者への誓約書、万一の際のマニュアルについて整備すること、マスターズ選手の認知症テストについても導入することが、出席理事全員一致で承認となった。
- ・安原監事より、試案は弁護士の辻監事とも相談し、法的リスクの回避ができるよう作成するよう助言を受けた。

5. 7 平成30年度上半期収支決算について

- ・松谷事務局長から上半期決算について報告がなされ、公認会計士の安原監事が補足説明を行なった。
- ・松谷事務局長は引き続き儉約が必要である旨の内容を、安原監事は海外派遣時の手当て類の見直しについて意見を述べた。
- ・古城専務理事より、停止している理事等の経費支払いについて、年度末の残高に応じて支払う趣旨の発言がなされた。
- ・審議の結果、平成30年度上半期決算は出席理事全員一致で承認された。

5. 8 平成31年度事業計画、平成30年度事業報告準備について

- ・佐々木代表理事より、平成31年度事業計画及び平成30年度事業報告準備について説明がなされた。
- ・事業計画は3月末の内閣府報告に合わせるため、事業報告については6月定時社員総会での承認を目指すため、各書類の作業締切り期限が示された。
- ・審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認となった。

5. 9 その他の審議事項、報告等

(1) アンチ・ドーピングの件

- ・スポーツ医科学委員の蜂須委員長より、アンチ・ドーピング等に関わる変更案が提示された。提案内容は次のとおり。
 - ①年末年始をまたぐ場合の医薬品・サプリメント申告は8週間前を締切りとすること
 - ②アンチ・ドーピング関連の違反歴のないセコンドのアンチ・ドーピング講習会受講廃止
 - ③18歳未満の親権者同意書は選手登録時に提出すること。それらは先に決議した選手等登録のクラウドにおいて、ログイン権限者を医科学委員長と定めて一体管理することとした。
- ・審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。
- ・eラーニングでのアンチ・ドーピング講習会再開について、JADAの日本語版サイトが再稼働したときに、システム内容を確認した上で導入の是非を再検討することで

一致した。

(2) ダブルエントリーの件

- ・大阪で開催されたジャパンクラシックベンチにおいて、ダブルエントリー不可のアナウンスが当日の朝であったことに対し、選手から不満が出ている旨の内容を中田理事が報告した。審議の結果、ホームページへお詫び文を掲載する意見がなされ、出席理事全員一致で承認となった。

(3) 大会開催マニュアルの件

- ・組織委員会の北野委員長より、現状に合わせた「ブロック大会、地方大会の開催マニュアル」の改訂案、大会運営上の問題を改善する2020年度の大会出場標準記録の改訂案、2019年度全国大会開催地及び期日案の説明がなされた。
- ・標準記録の改訂では、全国大会出場者が増加して運営が困難となっていること、上位者とその他エントリー者の設定重量差が大きく間延びしていること等が報告された。標準記録については慎重に検討することが必要との意見が出され保留となった。
- ・その他の案件については審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(4) マスターズIVの標準記録の件

- ・大森理事より、ワールドゲームズがノーギア化され参加人口が増加していることを示し、マスターズIVの標準記録設定について提案がなされた。
- ・審議の結果、賛成2、否認7であり、原案は否決となった。

(5) ベンチプレスの標準記録の件

- ・佐々木代表理事より、三重県で開催される次年度のジャパンクラシックベンチについて、会場等運営都合で300名程度が限界となることが報告され、当該大会出場のための標準記録を上げることが示された。
- ・適切な標準記録設定について、2020年度標準記録と合わせ北野氏を中心とするプロジェクト委員会を立ち上げて検討することが決定された。
- ・なお、出場見込み者を350名程度とする記録を調査・設定することで、先般の大阪ベンチ大会の例を当てはめた場合には、参加人数が300名程度になるのではないかという意見がなされ、標準記録については出場人数350名程度となるよう委員会内で検討することが承認された。

(6) 日本記録認定の件

- ・ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会におけるサブジュニア・一般のダブルエントリー者の日本記録認定について、当日サブジュニア日本記録93kgを発表したが、ルール上500gピッチは「一般」の記録更新の際に有効であり、審判員及び陪審員の見落としがあった。
- ・「93kg」を特例で認めるか否かが審議された結果、92.5kgとしてサブジュニア日本新記録を認定することが出席理事全員一致で承認された。

(7) 世界ベンチプレス大会の件

- ・松谷事務局長より、2019成田世界ベンチの予算等について、次のとおり報告がされた。
 - ①日本スポーツ振興センターの助成対象となることが見込まれており、役員、補助員の日当の他、旅費宿泊費が支給対象となるため、募集する役職・単価・人数等を適切に定めることが必要であること。
 - ②その他購入物品や借用物品手配についても順次決定する必要があること。
- ・上記の決定について実行委員会古城委員長に一任することが提案され、審議の結果、

出席理事全員一致で承認となった。

(8) ルール変更等に関する通達の件

- ・コスチューム等に関するルール変更に関する通達について、2019年度からの適用を目指し、遅くとも3月末までにホームページで公開できるようにすること、IPFフォーミュラ変更について、国内適用は成田世界ベンチ大会に導入される新しいIPFポイント組み込みのグッドリフト稼働状況や選手への影響を再度審議してから通達することが決定した。

(9) 手当支給の件

- ・沖浦財務委員長より、倫理委員会及び不服審査会の委員が開催された場合の手当支給について諮問がなされた。
- ・協会外部から委員を招聘するにあたり、経費の他、日当について1万円を支払うことが検討された。関係規程類の改訂案作成等の作業を行い、後日、再審議することとなった。

(10) 選挙の立候補者推薦の件

- ・佐々木代表理事より、高知市議会議員選挙に立候補予定の神岡俊輔氏を協会推薦すること、又、安楽常務理事より、参議院議員通常選挙に立候補予定の尾立源幸氏（自民党）を協会推薦することが提案された。
- ・審議の結果、2名の推薦案について出席理事全員一致で承認となった。

(11) 自動販売機契約更新の件

- ・松谷事務局長から、坂井トレーニングジムに設置されている日本パワーリフティング協会ラッピング自動販売機について、オペレーションが大蔵屋商事株式会社へ移管されることになった旨の報告がなされた。又、今後の契約継続について諮問したところ、出席理事全員一致で承認となった。

(12) 次回理事会は3月9日（土）14時から大阪で開催されることに決定した。

以上をもって議案の全部を終了したので、佐々木健治代表理事は19時に閉会を宣した。

上記の議決を明確にするため、出席代表理事及び出席監事が次に記名押印する。

平成31年1月26日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

出席代表理事 佐々木 健治



出席監事 安原 徹

